



続 校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 5 . 3 . 1 3

「明日、第113回卒業証書授与式を迎えるにあたり、そのお・も・い!は・・・。」



いよいよ明日3月14日（火）は、卒業証書授与式です。本日の2校時に予行を行いました。予行ながら卒業生はじめ在校生においても、本番さながら素晴らしい作法等を見せてくれました。とても心打たれる感動いっぱいのステキな予行でした。前日から寂しさを隠せない気持ちでいっぱいです。

私は、以前、卒業式の練習を始めるにあたり、先生方に以下のような趣旨の気持ちを伝えました。

厳粛な式であってほしい。しかし、形だけにこだわりすぎて、子どもたちを厳しく指導しすぎることはやめてほしい。なぜならば、子どもたちが式を楽しみにするどころか、嫌になることは最も避けたいことであるから。

在校生においては、卒業生に対し、心から感謝の気持ちを示すことができる卒業式、卒業生がいなくなって寂しくてたまらないと思える卒業式であってほしいと考える。たとえ歌声や呼びかけの音が小さくても、作法に間違い等があっても、最も大切なのは、心がこもっていること。気持ちよく卒業生を送り出したいという思いを在校生の各人が持てるということが大切。そして、6年間の学業を終えた卒業生は、やはり堂々とした態度で卒業式に臨んでほしい。

さて、卒業生のR. Kさん、S. Kさん、M. Hさん、T. Mさん、ご卒業おめでとうございます。4名のうち3名は鷹巣中学校へ、1名は他中学校へ進学します。いずれにしても、6年間、この長橋小学校で学び、保護者や地域の方々から温かい愛情をたくさん注がれてここまで成長したみなさん。長橋小学校の看板を背負い、堂々と中学校生活を送ってください。そして、今後、各所で長橋小パワーを見せつけてください。

最後に、明日の私の式辞にも盛り込んでいますが、今の私たち教職員の気持ちそのものである俵万智さんの歌を紹介します。

『 さんがつの さんさんさびしき 陽をあつめ 卒業してゆく 生徒の背中 』

卒業生4名の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。卒業生の保護者の皆様におかれましても、これまでたいへんお世話になり、心より感謝申し上げます。